



あの人を見て、
オレは今まで



生きて
いなかったのだと
思い知ったんだ



手
の
た
め

か
ら
こ
し
は



今日も
だらだらと

一日を
過ごして
しまった...

オレは
生まれてこの方
趣味を持った
ことがない



今日こそ
俺が勝つまで
帰さないぞ!

ライブビューイング
めっちゃ
楽しみだ〜



一生得れない?
そんなにかな!

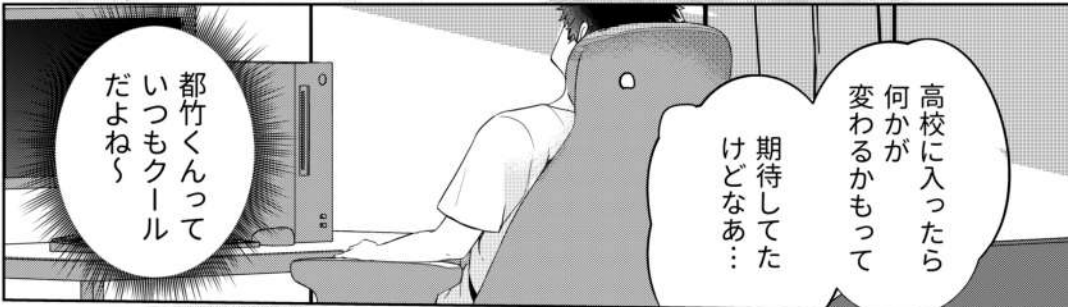
つまらない
人間だ



けど
心が沸き立つ
ような感覚には
ずっと憧れてた

何かを本気で
楽しめる周りが
理解できない

それでも
羨ましかった



高校に入ったら
何かが
変わるかもって
期待してた
けどなあ…

都竹くんって
いつもクール
だよな



ははっなにそれ
みんなと遊ぶのは
ちゃんと楽しいよ

オレはただ

何に対しても
「なくても別にいい」
としか思えないから

そんな自分が
虚しくて
嫌なだけだ



何があっても
動じない
って感じ！

都竹：お前付き合
いいいけどさ、
本当に楽しんでる？
俺たまに心配だけど



別にオレと
じゃなくても
よくない？

それがみんな
急に誘われても
時間空いて
なくてさ！

無趣味で、

いつもぶらぶら
してる



お前
だけが頼り
なんだ！

……
失礼すぎないか？
人に頼み事
する態度かよ

まあ
行くけどね
実際暇だし

ホント！？



ありがとう!!
助かったよ

今日の主演は
演技一流
で有名な

うえつか
上塚先輩
なんだ

絶対
楽しめる
と思うよ！

星と六に

へえ……

で、いつどこで
やるだよ？
それ……





正直なところ、
歳の近い高校生の
演劇など、



所詮おままごと
みたいなものだろうと
タカをくくっていた

けど



君をどこまでも
連れていくと
約束するよ

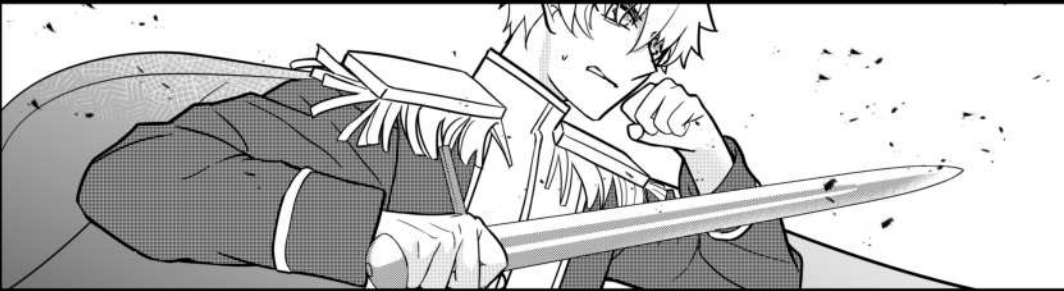
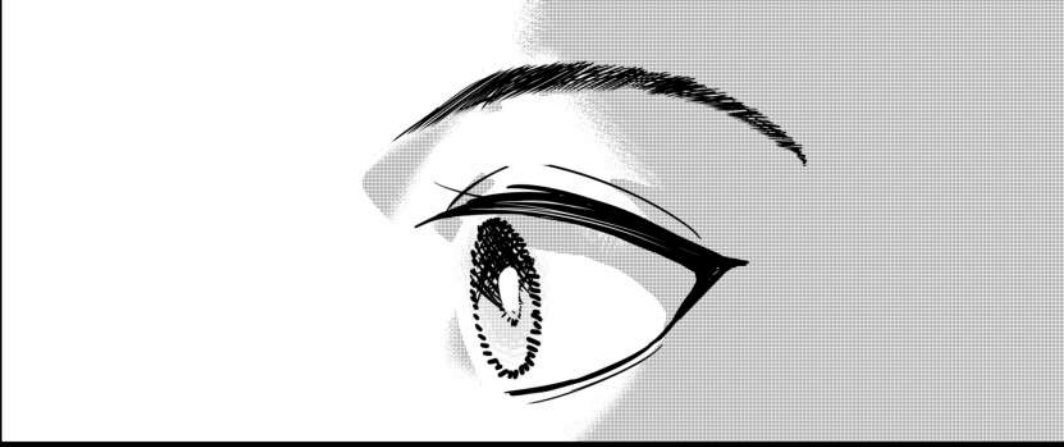
どうか見せて
くれないか
君の笑顔を

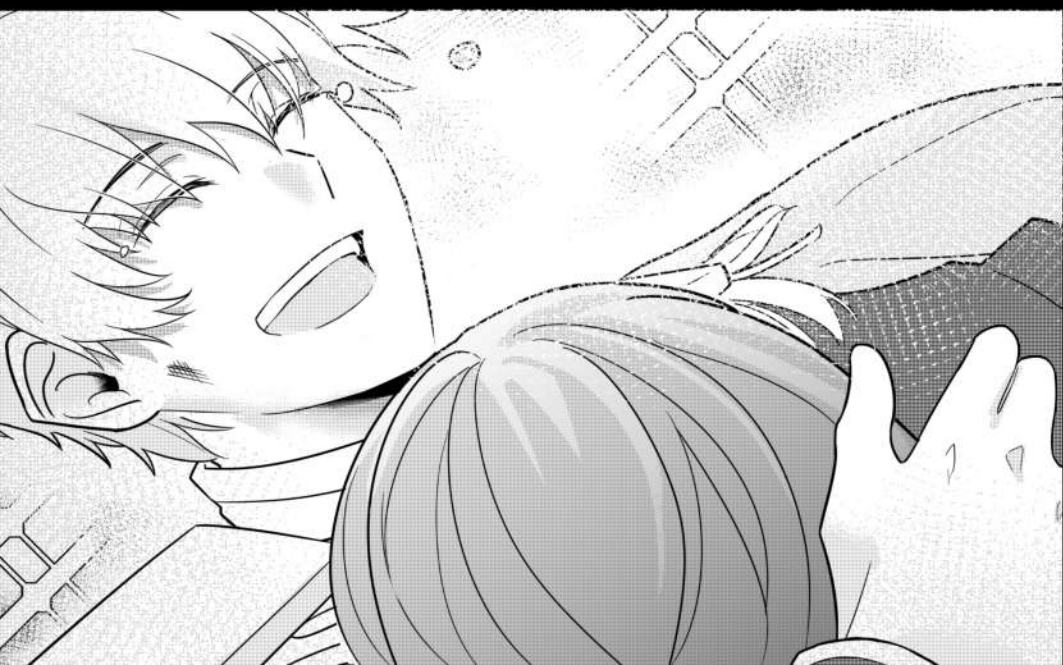


さあ
顔をあげて
おくれ

君には
こんな暗闇が
似合わない







電流が走った
みたいだった

すん

たった一人の言動に
死ぬほど
一喜一憂して
驚いた

ぼん

動揺を、感動を
オレも味わうことが
あるのか

圧巻だ



そんな気分だった



その日
強烈すぎる光が
オレの人生に
注ぎ込んできた



あの人
は入学後
一年
経たずして
演劇部で主演を
任される
ようになった

上塚先輩

うるさく……

ね！主演の人
すごかった
でしょう？

お前が
泣いてるところ
初めて見たかも

さ



見覚え
くらいはあると
思ってたんだけど

前からよく
ポスター貼られ
てたし、

学校内で
とても有名な
先輩だよ



オレは今まで
何をして生きて
きたんだろう

気に入ったこと
なかった……

それから
オレは、



いや……
知らない

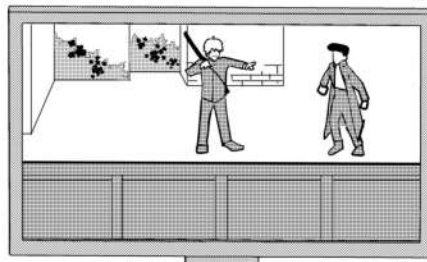


人生を取り戻す勢いで
ひたすら上塚先輩を
追いかけた

先輩が
参加する公演は
必ず観に行く
ようになって

なんなら
先輩が出ていない
舞台にも触れる
ようになった

華々しい世界
だと思った。
けれどやっぱり、



オレには

近い年なのに
信じられないくらい
まぶしい先輩が

一番
魅力に見えた





主役のときは
凛々しく力強く

舞台全体を
引っ張っていた



悪役のときは
憎たらしく
美しく振る舞って



脇役のときは
縁の下の力持ちになり



この人に
出会えて
良かった！

なんて
まぶしいんだ！
本当にすごい



都竹!



いつまでも
みていたいな



上塚先輩の

卒業前
最後の公演
だし



今週の
公演

お前も当然
観に行く
よね?

演劇を辞める
つて聞いたよ

観に行くよ
もちろん

だよな
…先輩、
卒業したら

寂しいなあ
お前は
大丈夫なの？

この一年間で
すっかり
大ファンに
なったのに

…お前と同じ
寂しく思う
だけだよ

あの人に
出会わせてくれて
ありがとうな

おかげで
オレの人生は

ありえないくらい
楽しいもの
になった



演劇を語れる
仲間が出来て
良かった！

こっち
こそ！



…

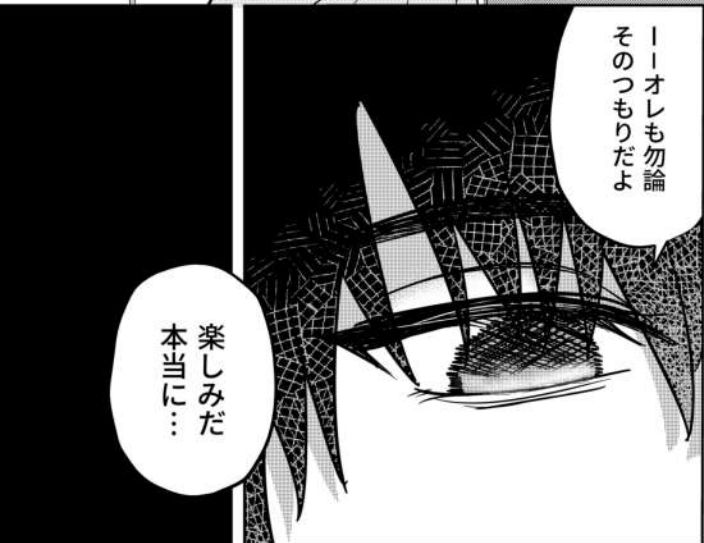


上塚先輩が
見せてくれた

素敵な
物語を
胸に！

ねっ

明るい気持ちで
最後の公演を
見届けようよ



ーオレも勿論
そのつもりだよ

楽しみだ
本当に…



く…

あの人を
気持ちよく
送り出そう！

生まれて初めて
得られた光を

もうすぐ

失踪!!

もうすぐ

今朝から連絡が
付かないんだ


永遠に
失われてしまう

公演がもう
始まるのに!


それがなければ、
もはや自分には
何もない

舞台に触れてから
初めて人生が
始まったのだ

カン



ならば
最後の舞台と共に



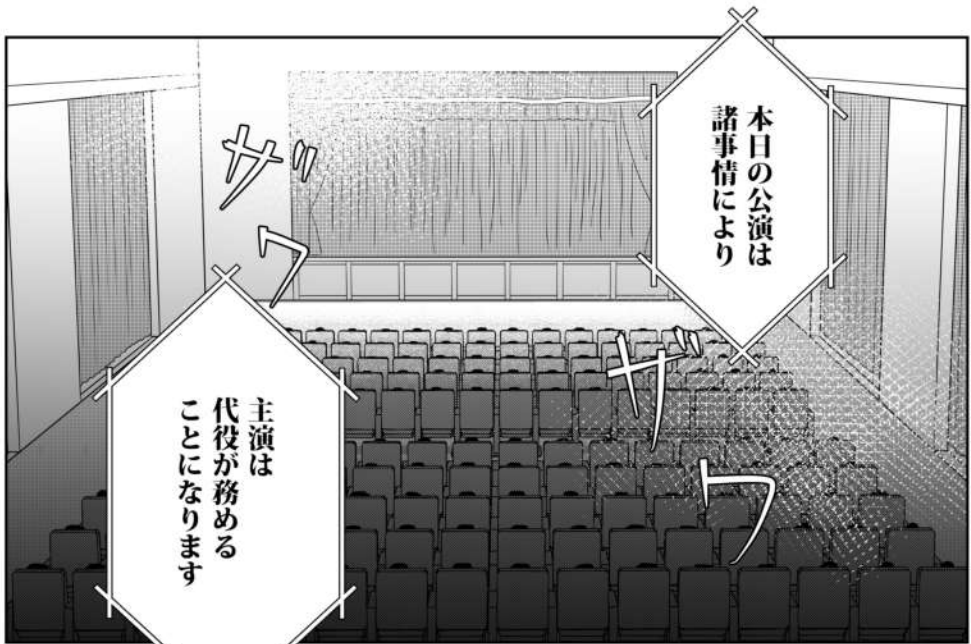
自分も終わって
然るべきだろう

どうして
まだ来て
ないんだ

もうすぐ
開演なのに

上塚先輩が
音信不通だつて

さっき
演劇部の子が
言ってたよ





この声はー



上塚先輩!?







オ、オレは、
あの、
ファン...です

...



いつも見
に来てく
れてあ
りがと
う

ふふ、
知って
るよ



終わら
せたく

なかつ
たから
だよ



あーの

ぎゅん



今日
の公
演に
来な
かつ
た
ん
だ
ら
う
か？

せっかく
ここで
会えたんだし

僕の話に
ちよつと
付き合つてよ

僕の家は
医者の家系だ

子供は代々
医者になるように
育てられてる

もちろん僕も
例外じゃない

勉強しか
僕の人生に
なかった

苦痛さえ
感じないくらい
何もなかったよ

でも

高校一年生の時
クラスの友だちに
助っ人
として呼ばれて

僕はその時
初めて
舞台上上がった

そこで初めて
自分は生きてる
んだって思えた

楽しい！

演劇に触れて
ようやく

役の
人生を通して
泣き笑い

スポットライト
を浴びて
喝采を受ける

今までどうやって
生きてたのか
思い出せないくらい

僕の人生が
はじまったんだ

それは

オレと…

でも、
演劇部を
続けられたのは

成績トップ
の維持と

卒業後は
学業に
専念する

二つの条件下で
何とか許しを
得られたからだ、
つまり

今日の公演が
終わったら

けど僕は

舞台から
降りたく
なくなった

二度と演劇
できなくなる

演劇こそ僕の
生きる理由だ

色彩を
知ったのに
いまさら

モノクロの
人生に
逆戻りなんて
できない

だったら
せめて

人生の
最高潮から

転げ落ちる
前に、

まだ舞台が
終わってない
今のうちに、

ここから
飛び降りて

断ち切りたいな



ごめんね



こんなこと
聞かせ
ちゃって




先輩

この人を、
さすがに、
していたのか

オレは
何も知らずに

上塚先輩は
こんな思いで舞台に
臨んでいたんだ




先輩、今日の
舞台を演じて
貰えませんか




オレのために





だって
本当に楽しみに
していました

なのに観客席で
待ち続けても



あなたは舞台上に
上がってこない

それじゃオレも
アンコールの
しようがないです

舞台にも
上がらないのに
奈落に落ちるなんて

そんなの
順番がおかしい
ですよ



教えてください
呪文を
解けるために

神に
捧げるべき
花の名前は

なんですか？

途中まで
公演を
観てました

けどやはり
あなたじゃないと
全てが味気なくて

話が入って
来ないんです

お願いします
このままだと
あなたも、

オレも

未練が残って
しまいます

助けて
ください

さしあげ

アンロール
をさしあげます





困ったな



よりにもよって
最後にこの子と
出会うのか



今日も
早いなあ

いつも
いい席取って
公演を観に
きてくれるのに



印象には
もちろん残ってる

だって彼は
実に変な子だった



開演を
待ってる間は
いつだって

つまり
なさそうな
仏頂面だ

フンッ

でもきつと
嫌々で来る
わけではない



僕が舞台に
上がる途端、

彼は花が咲いた
ように笑うから



確信がある。
なぜなら、

他のどの演者が
どんな演出を
始めようと

彼は眉一つ
動かさない

僕だけだ

僕を見る
時だけ

彼は
笑顔になる

正直
満更でもない

好ましい
ファンだと
思ってる

僕がいなく
なったら、

その笑顔を生涯
奪うこと
なるのかな

それも
いいかも
しれない

けど、
もし彼が他のことに
光を見出して、

僕以外に対しても
そうやって笑顔を
見せるようになったら、

仕方ないけど、
少し
妬いちゃうな

お願いします。
オレを助けて
ください



助ける？

いずれにせよ
役者を辞める
ことになる僕に

彼を助ける
ことなんて
出来るのか？



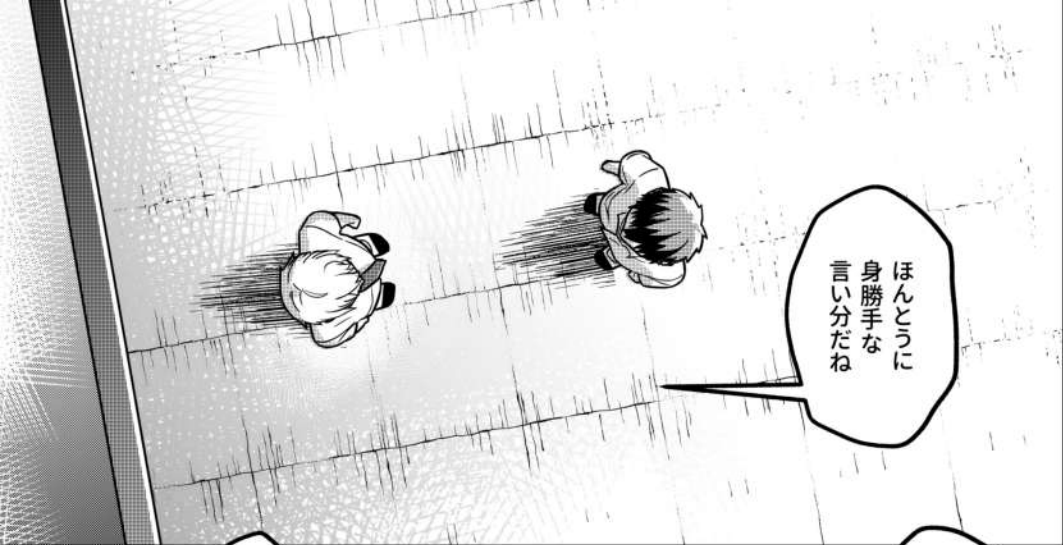
客席で
待ってる人を
無視するなんて、

ムリだ



本当に、
困ったな

これじゃ
心置きなく
死ねない



ほんとうに
身勝手な
言い分だね



それじゃあ
君を満足
させられたら

ようやく
僕も
お役御免かな



オレは

あなたが
心の底から
満足した顔を
見せるまで

いつまでも
居座り続ける
つもりです



それまでに
あなたは

決して舞台から
降りられません

あなたは
観客が
いる限り

舞台から
降りられない
人間なので





やはりまだまだ
未熟なのかも
しれない

……
しょうが
ないなあ

こんなにも
お客さんに
筒抜けの演者

これじゃあ
満足なんて
程遠いな



なら
付き合って
貰おうかな

最後まで



もちろん
喜んで

お供させて
いただきます



オレの人生にも
もう楽しみが
残ってないし

……ええ
先輩が満足して
舞台を去るなら



ねえ
そういえば

君も未練を
残したくない
って言ってたけど

その言い方だと
まるで君もー

何も無い
自分に戻り
たくないの

最後の公演を
見届けたら
死ぬつもり
だったんです



でも



今はまだ
生きて



あなたの演劇が
見たいです

その後、オレは
先輩と夜まで
二人きりの
演劇を続けて

先輩の家まで押し
かけ、二両親に
彼の舞台の良さを
必死に伝え

警備員に
見つかり
酷く怒られた

無理やり
DVD鑑賞会を
開いたのは、
また別の話だ